

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月12日

上場会社名 株式会社 アスラポート・ダイニング
 コード番号 3069 URL <http://www.asrapport-dining.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 檜垣 周作
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 中村 敏夫

TEL 03-6459-3235

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	8,167	24.6	502	89.8	450	92.1	383	147.6
26年3月期第3四半期	6,552	19.2	264	△10.9	234	△20.1	155	△37.9

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 398百万円 (155.2%) 26年3月期第3四半期 156百万円 (△37.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	20.37	19.61
26年3月期第3四半期	8.48	8.19

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	10,570	2,419	21.7
26年3月期	9,728	1,886	18.0

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 2,295百万円 26年3月期 1,755百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,026	17.3	696	23.8	623	35.4	355	18.3	19.13

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 2社 (社名) ASRAPPORT FRANCE SAS、レゾナン
スタイニング株式会社、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	19,117,915 株	26年3月期	18,553,258 株
27年3月期3Q	2,400 株	26年3月期	2,400 株
27年3月期3Q	18,851,952 株	26年3月期3Q	18,274,145 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策により景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

外食産業におきましては、業態により堅調な消費が見られるところは一部あるものの、円安等による原材料価格の上昇、人材不足による人件費の上昇など、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような中で、当社グループは「食のバリューチェーンを構築する」という目標を掲げ、「既存ブランドの競争力強化と成長」、「ブランド・ポートフォリオの多様化」、「海外市場への進出」、「食品生産事業と六次産業化への取り組み」の各課題に取り組みました。

株式会社プライム・リンクでは、「牛角」がファミリー層への取り組みを強化、夏場に投入した人気キャラクターを使ったお客様向けのキャンペーンやテレビCMなどの効果の他、秋のグランドメニューで本格的に投入した高単価・高品質メニューも好評で業績は堅調に推移しました。また「とりでん」では、季節メニューの投入によるリピーターの増加、映画とのタイアップによる新規顧客の獲得に取り組みました。

株式会社とり鉄では名物商品の強化、メニュー数の絞り込み等によるオペレーション及び食材管理の効率化に取り組む一方、多言語対応のメニュー等の整備を行い、増加する外国人観光客の取り込みにも力を入れました。

また、レゾナンスダイニング株式会社が運営する鳥業態のブランド「ちどり亭」「浪花屋鳥造」については、小型店舗が中心で親鶏を原料に使用するなど特徴のある「ちどり亭」が好調に推移しました。

こうした結果、外食事業における既存店売上高前年同期比においては、「牛角」101.4%、「とりでん」98.0%、「おだいどこ」96.8%、「とり鉄」99.5%、「ちどり亭」103.7%、「浪花屋鳥造」98.0%、グループ全体で100.1%となりました。

乳製品メーカーの株式会社弘乳舎は、従来からの乳製品加工受託や加工乳製品の製造・販売に加え、新たに事業化した脱脂濃縮乳等の液状乳製品、アイスクリームやデザート等の製造・販売の伸びにより堅調に売上が推移いたしました。

また、株式会社フードスタンドインターナショナルの洋菓子製造販売部門であるGOKOKUは、これまで関西のみで実施していた催事販売を関東でも開始し、販路拡大と関東でのブランド認知の獲得に取り組みました。

以上により、当第3四半期連結累計期間の売上高は8,167百万円（前年同四半期比24.6%増）、営業利益は502百万円（前年同四半期比89.8%増）、経常利益は450百万円（前年同四半期比92.1%増）、四半期純利益は383百万円（前年同四半期比147.6%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 店舗運営

当第3四半期連結会計期間末における当社グループの直営店舗数は47店舗となり、前年同期に比べ3店舗減少しました。「ちどり亭」4店舗、「浪花屋鳥造」2店舗、その他1店舗が加わった一方、「とり鉄」はフランチャイズ加盟店への譲渡等により4店舗が減少し、「おだいどこ」、「たこばやし」他計6店舗を閉店しました。その結果、店舗運営の売上高は2,090百万円（同6.2%減）、営業利益137百万円（同155.7%増）となりました。

② フランチャイズ

当第3四半期連結会計期間末における当社グループのフランチャイズ店舗数は382店舗となり、前年同期に比べ、80店舗の増加となりました。レゾナンスダイニング株式会社の子会社化により、「ちどり亭」56店舗、「浪花屋鳥造」28店舗※が加わり、また「牛角」で7店舗、その他ブランドで1店舗が増加した一方、「とりでん」、「おだいどこ」、「たこばやし」他で計12店舗が減少しました。その結果、フランチャイズの売上高は2,983百万円（同16.9%増）、営業利益1,077百万円（同33.0%増）となりました。

※「浪花屋鳥造」のうち2店舗は、株式会社プライム・リンクがフランチャイジーとして直営運営しており、上記「店舗運営セグメント」でも店舗数に算入しています。

③ 食品

食品事業においては、乳製品メーカーである株式会社弘乳舎において特に液状乳製品の製造・販売やアイスクリームやデザートの受託製造が伸長したことにより、食品の売上高は2,215百万円（同112.5%増）、営業利益は56百万円（前年同四半期は営業損失29百万円）となりました。

④ その他

転貸における売上、加盟企業向け販促物の売上、通販や催事における商品売上、食材の外部販売売上等によ

り、売上高は877百万円（同20.4%増）、営業利益142百万円（同146.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は10,570百万円となり、前連結会計年度末に比較し841百万円増加いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金並びに関係会社株式の増加によるものであります。

負債合計は8,150百万円となり、前連結会計年度末と比べ308百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金の増加によるものであります。

純資産については、主に四半期純利益の計上により、前連結会計年度末と比べ532百万円増加し、2,419百万円となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、平成26年9月19日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間において、レゾナンスダイニング株式会社の株式を取得したことから、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,650,084	2,539,752
受取手形及び売掛金	1,078,951	1,349,598
商品及び製品	406,477	272,550
仕掛品	8,196	4,355
原材料及び貯蔵品	35,769	35,834
その他	774,305	954,552
貸倒引当金	△14,477	△10,287
流動資産合計	4,939,307	5,146,357
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,397,300	1,397,300
その他(純額)	742,670	703,199
有形固定資産合計	2,139,970	2,100,499
無形固定資産		
のれん	1,628,727	1,884,399
その他	30,582	32,250
無形固定資産合計	1,659,310	1,916,649
投資その他の資産	989,775	1,406,794
固定資産合計	4,789,055	5,423,943
資産合計	9,728,362	10,570,300

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	649,354	895,331
短期借入金	608,600	141,380
1年内返済予定の長期借入金	982,323	1,350,719
未払法人税等	84,566	69,856
賞与引当金	30,692	13,119
店舗閉鎖損失引当金	—	6,604
資産除去債務	3,835	3,835
その他	913,723	1,005,405
流動負債合計	3,273,095	3,486,253
固定負債		
社債	122,500	289,000
新株予約権付社債	75,000	—
長期借入金	3,306,084	3,267,888
役員退職慰労引当金	50,862	—
退職給付に係る負債	91,571	70,940
資産除去債務	83,666	89,479
その他	839,091	947,286
固定負債合計	4,568,775	4,664,594
負債合計	7,841,870	8,150,847
純資産の部		
株主資本		
資本金	741,591	816,164
資本剰余金	699,888	774,461
利益剰余金	314,831	698,770
自己株式	△1,428	△1,428
株主資本合計	1,754,882	2,287,967
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	846	△8,036
為替換算調整勘定	—	15,263
その他の包括利益累計額合計	846	7,227
新株予約権	45,741	30,922
少数株主持分	85,021	93,334
純資産合計	1,886,491	2,419,452
負債純資産合計	9,728,362	10,570,300

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	6,552,833	8,167,895
売上原価	3,931,487	5,250,822
売上総利益	2,621,346	2,917,072
販売費及び一般管理費	2,356,785	2,414,841
営業利益	264,560	502,231
営業外収益		
受取利息	4,024	12,128
その他	20,475	21,174
営業外収益合計	24,499	33,302
営業外費用		
支払利息	26,995	59,018
持分法による投資損失	—	6,014
その他	27,779	20,335
営業外費用合計	54,775	85,367
経常利益	234,284	450,166
特別利益		
固定資産売却益	340	682
受取補償金	—	43,253
環境安全対策引当金戻入額	24,108	—
役員退職慰労引当金戻入額	—	50,862
その他	3,915	9,500
特別利益合計	28,364	104,298
特別損失		
固定資産売却損	184	—
固定資産除却損	—	5,447
減損損失	—	431
店舗閉鎖損失	13,884	10,871
店舗閉鎖損失引当金繰入額	2,860	6,604
その他	34,004	2,021
特別損失合計	50,935	25,376
税金等調整前四半期純利益	211,713	529,088
法人税、住民税及び事業税	16,270	114,652
法人税等調整額	39,739	22,184
法人税等合計	56,009	136,836
少数株主損益調整前四半期純利益	155,704	392,251
少数株主利益	668	8,313
四半期純利益	155,035	383,938

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	155,704	392,251
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	513	△8,882
為替換算調整勘定	—	15,263
その他の包括利益合計	513	6,381
四半期包括利益	156,217	398,633
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	155,548	390,320
少数株主に係る四半期包括利益	668	8,313

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。